



長狭学園の教育



かしこく(勤勉) やさしく(至誠) 遅しく(克己) 長狭大好きな子(立志)

早くも開き始めた桜の花が、本格的な春の到来を告げています。二季という言葉が一般化しつつありますが、桜が入学式まで持つかどうかの話題が職員室でも聞かれるようになりました。満開の桜の下を保護者に手を引かれて校門をくぐる1年生の姿が、学校の春の風物詩でしたが、今後は、どうなっていくのでしょうか。

さて、4月7日(月)の始業式で始まった令和7年度も本日の修了式で終わりとなります。年間授業日数は、学級閉鎖のなかったクラスで200日でした。9日(水)の入学式で新1年生18名を迎え、148名の児童生徒が全員揃い、この1年間、大きな事故やケガもなく、6年生や9年生には卒業証書を、その他の学年には修了証書を手渡すことができました。1年間の身体や心の成長の度合いは人それぞれですが、全ての児童生徒が学校という枠の中で、自分なりに精一杯の努力をした跡が「あゆみ」に記されています。各ご家庭におかれましては、この1年を振り返り頑張ったこと・努力したことを確認するとともに、令和8年度に向けて、どんな自分になりたいか、どんな自分になってほしいかを語り合っていただければと思っています。なお、そのための手立て等を、お子様とともに話し合い、令和8年度の始業式(4月7日)が、夢と希望に満ちた1日となるよう、ご支援をお願いいたします。

なお、右の表は、各学年の児童生徒の伸長の伸び(4月と1月の身体測定の状況を比較したもの)を一覧表にしたものです。

個人差は勿論ありますが、小学部は毎年4~6cm、中学生も毎年、1~4cm程度の伸びが認められます。勿論、身体と同様に心も大きく成長しています。子どもたち一人一人は、時に悩んだり苦しんだりする場面もありますが、校歌「若葉」に「悩みは心を深く耕し」とありますように、苦しみや悩みが子どもたち一人一人の心を耕し、広げ伸ばしてくれたものと思っています。来たる令和8年度も、保護者の皆様と手を携え、地域の方々のご理解とご協力を得ながら、長狭の子どもたちを育てていきたいと考えます。

保護者の皆様の令和7年度のご理解とご協力に感謝するとともに、令和8年度の引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

	4月	1月	伸び
1	114.1	119.2	5. 2
2	118.1	122.7	4. 6
3	130.4	135.9	5. 5
4	133.5	137.9	4. 4
5	140.1	145.6	5. 5
6	145.3	151.8	6. 5
7	153.2	157.3	4. 1
8	158.1	161.9	3. 8
9	161.4	162.4	1. 0

【お世話になりました。年度末をもって、退職・転出される先生方】

<転出：小学部>

○青木康悦 先生 ○中川なをみ 先生 ○上原可余子 先生

<退職：小学部>

<転出：中学部>

○重田心紀 先生 ○青木三七浩 先生 ○引地真理 先生 ○関口和則 校長

<退職：中学部>

なお、転出先につきましては、後日発表される新聞報道等でご確認ください。

※転入職員についても同様です。

【保護者の皆さまへ 校長より】

役職定年となりましたことを契機に、私(関口)は、38年の教員生活に幕をおろすことといたしました。長狭学園には、2年間という期間でしたが、教員生活の最後にふさわしい充実した日々を送ることができました。これもひとえに、保護者の皆様のご理解とご協力、地域の方々のご支援とご協力のお陰と感謝申し上げます。笑顔あふれる若葉(子ども)たちの健やかな成長、保護者の皆様のご健勝、長狭地域の益々の繁栄を心からお祈りし、お礼の言葉といたします。言葉では言い尽くせない感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。 関口

